

## 要望書

私たち「市民による外環道路問題連絡会・三鷹」は、計画沿線住民の声を代表する市民団体として、東京外かく環状道路計画―関越道～東名高速間―（以下外環道路）に関して、以下のことを国土交通大臣に要望をいたします。

### 要望事項

1. 「高速自動車国道法及び道路整備事業に係る国の財源上の特別措置に関する法律」改訂案の撤回
2. 外環道路計画を整備路線化した昨年4月の「第4回国幹会議」決定の無効化
3. 外環道路計画そのものの中止

### 要望の理由

#### ■「コンクリートから人へ」の理念に逆行しています

現政権は、私たち国民に対してこれまで「コンクリートから人へ」「公共事業への財政投入から人への投資へ転換を」と主張してきました。ところが、上記法律改訂案は、**利用料金の割引という形で本来国民に還元されるはずだった財源を、新規道路建設に振り替えようという趣旨に他なりません。**これでは文字通り「人への投資から、新規道路建設への転換」であり、「人からコンクリートへ」です。これまでの主張と逆行する法案は、直ちに撤回してください。

#### ■法の精神に合っていません

高速道路料金の割引方式を再検討したとのことですが、その結果、財源が余るのであれば、まずは**国庫に返還し、その上で、その財源を何に使うべきか審議し直すのが、道理**です。当初全く考えられていなかった目的のために、法律の条文を一部いじるような手段は姑息です。

私たち国民が納得できる道理はありません。

#### ■国際公約遵守への道筋に逆行しています

現政権は、国際公約である「2020年までに温室ガスの25%削減」のための具体策として「自動車走行量1割削減」と発表（環境省）。自動車走行量が1割減れば、自ずと渋滞は解決するため、外環道路計画は建設の目的を失います。それどころか新たな道路ができると誘発交通が発生し、自動車走行量が増大することを考えると、**もはや外環道路建設は、国際公約の実現に大きな支障となる計画**です。世界との約束を守るため、外環道路計画は、**いますぐ中止**して下さい。

#### ■形骸化した国幹会議での決定事項は、無効になって当然です

国土交通大臣は国幹会議を「形骸化している」との理由で廃止しました。ところが、その「形骸化していた」国幹会議での決定事項については、単に「民主党議員も参加し反対しなかった」との理由だけで、これを「有効」としています。廃止しなければならないほど問題のあった会議で決まったことは、一旦すべて無効とすべきです。そして、新たな決定方法が決まった段階で、その方式にのっとり、審議をしないのが筋道ではありませんか？新たな審議が、公平であり、国民に対して透明性が確保されていなければならないことは、いうまでもありません。

#### ■マニフェストに従い、外環道路は中止して下さい

民主党のマニフェストより

- ・[環境負荷の大きい公共事業は、再評価による見直しや中止を徹底] [民主党政策集・45ページ]
- ・[費用便益分析の厳格な実施を含むコストの徹底的な見直し] [民主党政策集・43ページ]
- ・[時代に合わない国の大型直轄事業の全面的な見直し] [民主党マニフェスト・7ページ]
- ・[総合交通ビジョンの実現] [民主党政策集・41ページ]

外環道路計画は、上記のどの項目においても、見直しをして、中止をすべき公共事業に他なりません。

マニフェストの「徹底」をお願いします。